



R4. 4. 28 フレンド認定こども園

園庭の桜の花が綺麗な新緑の葉に代わって、心地良い風や少し暑いぐらいの日差しを感じ季節が変わっていくのを体全体で味わえる今日この頃です。

さて、入園・進級して1か月がたちました。お家以外でこんなに長く過ごす場所は、新入児のお友達にとっては初めてのことだと思います。慣らし保育から始まったとはいえ、親子で不安な気持ちで過ごしたことでしょね。でも、泣き声も短くなり、抱っこしてもらえると安心！そばにいてくれると一緒に遊べる！という時間が増えてきて、子どもたちの適応能力の高さに感心します。また、進級児のお友達は環境が変わり、戸惑いや、なんか違うな…という思いを抱えながらも、この生活を受け止めようと懸命に生きています。

そんなけなげな子どもたちを見て、この子たちのために私たちができることは、ひとり一人の思いを受け止めて、いつでも「心」「体」が満足でき、信頼できる大人がそばにいるという環境を大切にしていくなさと改めて思いました。



5月の予定

- 11日(水) 身体測定
- 12日(木) 歯科検診
- 16日(月) 内科検診(うさぎ組)
- 17日(火) 交通安全教室
- 23日(月) 内科検診(りす・ひよこ組)
- 避難訓練
- 25日(水) 誕生会

5月生まれのおともだちおめでとう!



- ひよこ組 (10日)
- (11日)
- (19日)
- うさぎ組 (16日)



〈転園するおともだち〉

りす組
時々 遊びにきてね!

〈新しいおともだち〉

ひよこ組
りす組
一緒にたくさん遊ぼうね!!

〈メールのクラス変更について〉

・進級児でメールのクラス変更をまだされていない方はできるだけ早く変更してください。

〈ブログについて〉

・子どもたちの園での様子を随時ブログにアップしています。園のホームページから入っていただけますので、時々覗いてみてください。



0歳児 ひよこ組

入園してから1か月が過ぎようとしています。慣らし保育が始まった頃は、我が子とこんなにも長い時間離れたことがなかったお家の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。きっと「泣き続けていないかな?」「大丈夫かな」と心配で仕方なかったことと思います。始めは涙でいっぱいだった子達も、今では別れ際の少しの涙に変わったり、笑顔でバイバイと手を振ってくれたり、ニコッと笑って登園できるようになってきましたね。だんだんと園での生活に慣れていってくださることを嬉しく思います。たった1か月ですが、つかまり立ちが安定してきたり、つかまり立ちからあんよに変わったり、すりばいからおしりが上がってハイハイのような姿勢になったり、コップ飲みができるようになったり、私たち担任を後追いしてくれたり…と日々の成長が著しく、私たちもその成長に驚かされています。こんな毎日の成長をこれからお家のかたと一緒に共有し、喜びあえる1年にしていきたいと思ひます。お家で様子もたくさん聞かせてくださいね。子どもたちがお家で過ごしているように、ゆったり穏やかに一人一人のリズムに合わせて、日々の生活を送っていきたく思っています。(担任・)

1歳児 りす組

ひよこ組からの進級児6名、新入児6名、計12名でスタートしたりす組です。新しい環境に戸惑い、あれ?いつものお部屋と先生は?なんだか不安…な進級児。パパやママとバイバイするなんて「イヤー」と泣いて懸命に訴える新入児。どの子もみんな、小さな心でしっかりと自分の感情を表現していました。我慢なんてしないでいいよ、大丈夫だよ、と私たちも目の前の子もたちと向き合うことに必死でした。大人も子どもも、同様に慣らしの1か月だったように感じます。でも、泣きたい気持ちを受け止めてもらえる、とわかると安心して抱っこされ甘えてくれるようになり、素敵な笑顔を見せてくれる12名の子もたちです。これからじっくりと信頼関係を築いていきたいと思ひます。4月で2歳になった子、3月に1歳になったばかりの子、と月齢差が大きいので生活リズムも興味も向く遊びも違ってきます。一人ひとりに向き合いながら、心と身体の安定を配慮し一年間過ごしていきたいと思ひます。一人遊びをじっくり楽しむ事が多い年齢ですが、少しずつ変化も。友達の名前を呼んで話しかけたり、目を合わせニコニコ笑ったり、泣いている子におもちゃを渡してくれたり、とても微笑ましい姿も見られます。もちろん、おもちゃの取り合いも大切な成長ですね。これからどんな姿を見せてくれるか楽しみに、お家の方と喜び合いたいと思ひます。(担任・)

2歳児 うさぎ組

進級して1か月が経ちました。うさぎ組の部屋にただでなにかお兄さん・お姉さんになった感じがします。でも、“感じ”ではなく確実に成長している場面がたくさん!!椅子のうゑに立っている友だちを見て、「危ないっ」と保育者に訴えるNちゃん。「だめだよ」ではなく、椅子の上立つと危ないことを理解しての言葉です。おもちゃを大切に扱ってほしいなと思ひ、お片付けをする際に一つひとつ「これはどの入れ物に入れるのかな~」なんて言いながらおもちゃの写眞と照らし合わせながら、かごに入れていくのをじっと見ているMちゃん。すると「これはここかな?」なんて言いながら一緒にお片付けに参加してきます。お昼寝の時にまだまだ眠くない3人組。あらあら3人で大はしゃぎ!「眠たい子が寝られなくなっちゃいそうだわ」とそっとつぶやくと急に声のトーンが小さくなってこしょこしょ話に…「静かにしてね」と言わなくてもちゃんと通じてます。降園の時には、帰るお友だちに気が付くと「バイバイ!タッチ!」と保育者だけではなく友だちにも気持ちが向いています。トラブルの場面でも泣いている友だちを指差して「自分がぺんしちゃったの」とジェスチャーで教えてくれます。「そうだったの~。痛かったから泣いているのかな…」と言うと、叩いてしまった場所をなでなでしてあげています。同じような場面です「やってない!」と認めなかった子がこんな風に成長していました。日々の生活の中で成長を感じる場面がたくさんあります。これからその成長を見逃さないように12人の個性を大切にしながら、一人一人に向き合っていきたいと思ひます。(担任・)

